

各機関からの報告事項

新潟県部会	P 2～P17
富山県部会	P18～P26
石川県部会	P27～P36

平成29年 1月31日

北陸建設界の担い手確保・育成推進協議会

各機関からの報告事項

【新潟県部会】

【報告事項】

- （一社）新潟県建設業協会 P 2
 - ・インターネットを媒体にした広告配信等について

- （一社）新潟県測量設計業協会 P 3
 - ・パンフレット「測量設計のプロフェッショナル」作成・配布及び
若者向け情報誌「パスマガジン」への広告掲載、ラジオスポットCM放送の実施

- 長岡工業高等専門学校 P 4
 - ・JSC00P の受け入れ拡大

- 塩沢商工高等学校 P 6
 - ・各関係機関との連携による実習等の実施

- 北陸地方整備局 羽越河川国道事務所 P 7
 - ・体験型現場見学会における土木工学科高校生へのアンケート結果の報告

- 新潟労働局 P 9
 - ・「青少年雇用情報シートによる職場情報の提供」について
 - ・「若者雇用促進法に基づく認定制度」及び「若者応援宣言企業」について

平成29年 1月31日

北陸建設界の担い手確保・育成推進協議会

議題及び報告事項（※自由様式）

機関名・団体名：一般社団法人新潟県建設業協会

件名

インターネットを媒体にした広告配信等について

要旨

□ アニメ動画「トンネルつくろ」の広告配信

- ・昨今の担い手不足や「女性の活用」など新たなテーマも顕在化してきたため、今年度は対象を若年者・女性に絞り、インターネットを媒体にした、これまでとは違った視点のアニメ動画「トンネルつくろ」を広告配信している。

〈参考〉

- ①対象 大学生、若年層(13～24歳)
- ②対象エリア 新潟県全域のほか、土木系の学科がある東北や北陸、関東の各大学周辺
- ③再生回数 約25万回数

□ ラジオ広報「新潟を支える守り人たち」

- ・昨年度に引き続き、会員企業の新入社1年目から5年目の若手社員が、番組内で建設業のやりがいや夢などを語っていただき、県内のリスナーに伝えることで、若者の入職へつなげることをとする。

〈参考〉

- ①番組タイトル 「新潟を支える守り人たち」
- ②放送期間 平成28年10月から全25回
- ③放送枠 毎週月曜日 18:02～18:08
- ④その他 ポッドキャストを活用し、放送時間聞き逃した方へも対応

報 告 事 項

機関名・団体名：一般社団法人 新潟県測量設計業協会

件名

パンフレット「測量設計のプロフェッショナル」作成・配布及び若者向け情報誌「パスマガジン」への広告掲載、ラジオスポットCM放送の実施

要旨

- パンフレット「測量設計のプロフェッショナル」を 8,000 部作成し、県内高等学校、公共施設などに広く配布し、測量設計業の魅力を広くアピールしました。
- 上記パンフレットを若者向け情報誌「パスマガジン」12・1月号(11月28日発行)に特集記事として広告掲載し、読者に測量設計の役割、仕事の流れ、若手技術者への密着取材、測量士によるトーク・セッション、資格取得などを伝えました。
- 測量設計業に携わっている若者の声をラジオスポットCMとして放送しました。
放送期間：平成28年12月12日から12月26日までの平日
放送回数：午前（9:00～12:00） 1回
夕方（17:30～18:30） 1回

報告事項

機関名：長岡工業高等専門学校

件名

JSCOOP (Job Search for local companies based Cooperative education)

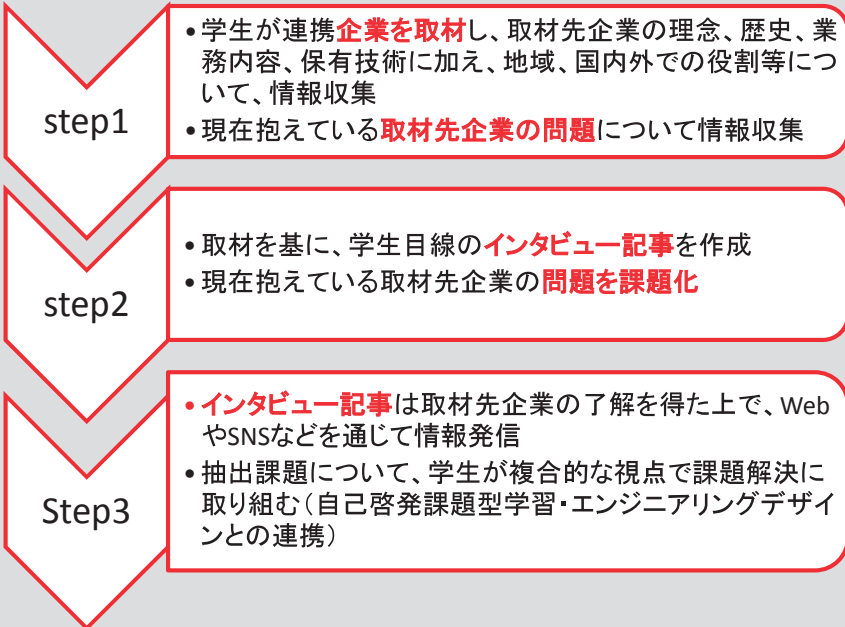
要旨

昨年度に引き続き、長岡高専で実施している JSCOOP の受け入れを拡大していく。
(来年度の予定は、作成中。年始め目処。)

・

Job Search for local companies based Cooperative education

地域産業界と連携して、課題抽出力、課題解決力を備えた**地産地消型人材**を育成するアウトプット型の教育プログラム



取材方針に対するディスカッション
SD教育プログラム・ベーシックコース2年生(本科5年生)



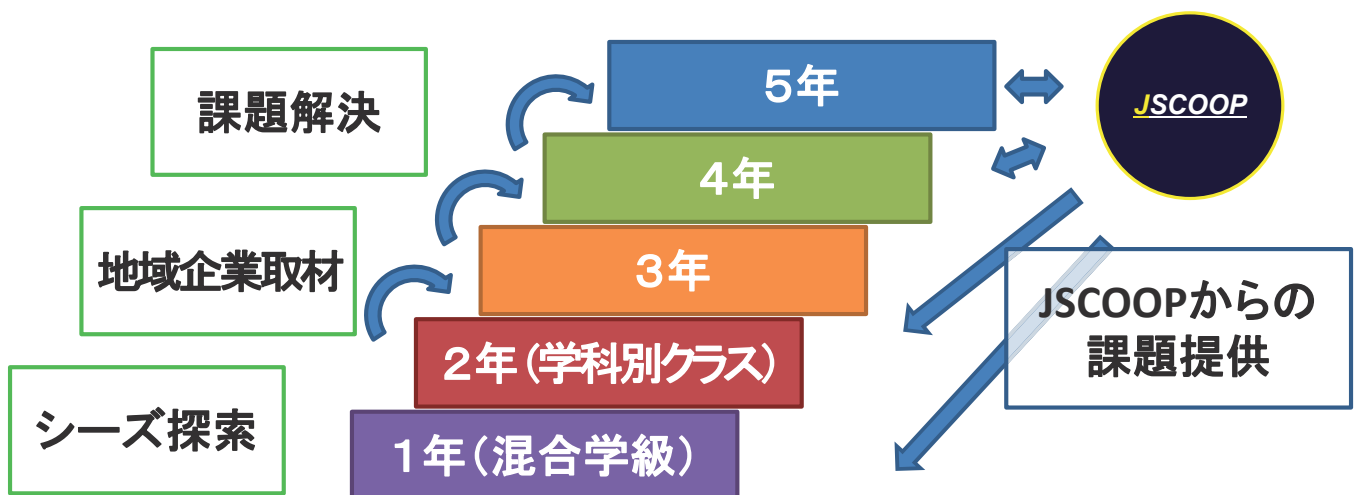
地域企業の方に対する取材方針の確認
SD教育プログラム・ベーシックコース2年生(本科5年生)



System Design Innovation Center,
NIT, Nagaoka College

長岡高専型キャリア教育プログラム

技術者の視点で「社会」「仕事」「課題」をとらえる



1年生・2年生: 教員プロフィール集を活用した学内シーズ探索とマッチング
(JSCOOPの課題を活用した課題解決演習)

3年生: 地域企業への訪問・取材とPR原稿の作成

4年生: JSCOOP型学外実習(地域企業への取材と課題抽出・課題解決の提案)

5年生: JSCOOP(システムデザイン教育プログラム参加学生)指導

報告事項

機関名：塩沢商工高等学校

件名
各関係機関との連携による実習等の実施

要旨

新潟県立塩沢商工高等学校機械システム科では、建設業への興味関心の向上、学校での学び実社会との橋渡しを目指し、各関係機関と連携した実習を展開している。

実習名	概要	主な連携機関
①仮設道路	仮設道路の設置を通じて、丁張り、安全対策、機械施工を体験する。	南魚沼建設業協会
②現場体験	現場での作業を通じて土木の魅力や仕事内容を理解する。	南魚沼建設業協会
③除雪	学校にて除雪機械の搭乗体験及び除雪業務を通じた地域貢献を理解する。	南魚沼建設業協会
④基準点測量	GPSを利用した基準点測量を実施する。	測量設計業協会
⑤擁壁	小型擁壁の作製を通じて、コンクリート打設に関する一連の作業を体験する。	南魚沼建設業協会
⑥防災教育	事例研究を通じて、災害発生時に求められる地元建設業者の役割を理解する。	南魚沼建設業協会
⑦地質調査	土質試験を体験し、その結果を踏まえた土工事ができる技術者をを目指す。	地質設計業協会
⑧アスファルト舗装	舗装の修繕を通じて、アスファルトの性質及び施工の留意点を体験する。	南魚沼建設業協会
⑨橋梁点検	橋梁点検実習を通じて橋梁に関する知識を深める。	国土交通省長岡国道事務所
⑩鉄筋組立	配筋図の読み方を学び、鉄筋を組み立てを通じてRC構造物の理解を深める。	南魚沼建設業協会
⑪生コン工場見学	生コンの製造方法を理解し、良い生コンクリートの見極め方等を身につける。	魚沼地区生コンクリート協同組合



議題及び報告事項（※自由様式）

事務所名：羽越河川国道事務所

件名

体験型現場見学会における土木工学科高校生へのアンケート結果の報告

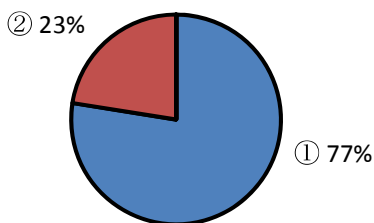
新発田南高校土木工学科3年生を対象とした体験型現場見学会でのアンケート結果と感想の一部を報告します。設問は見学会メニューへの感想の他、見学会前後で建設現場へのイメージや関心がどのように変わったかを調べました。なお見学会では、①鉄筋の配筋検査実習、②バックホウ・クレーン試乗、③鉄筋結束作業体験、④ドローンを使用した測量を行いました。

（アンケート結果）

特にドローン使用測量と鉄筋結束作業は興味も高く勉強にもなった。鉄筋配筋検査は実習形式であり勉強になった。バックホウ試乗への興味は高い。現場の印象は、見学会前は危ないが多いが、汚いと思わず面白そうな場所との感想も多い。見学会後は、危ないが大きく減少し、怖いおじさんはいないなど現場の印象が好転した。また土木工学科の生徒でも約3割で土木現場に興味や知識がなかったが、見学会後は全員が興味を持ち、理解も深まることできた。

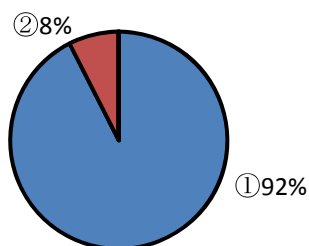
【質問1】見学会は楽しかったか？

- ①とても楽しかった
- ②楽しかった
- ③あまり楽しくなかった
- ④その他



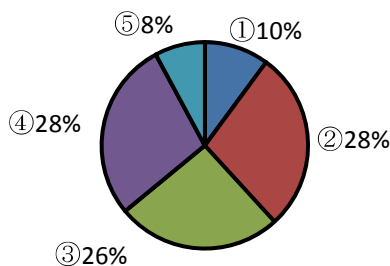
【質問3】見学会は勉強になったか？

- ①とても勉強になった
- ②少し勉強になった
- ③あまり勉強にならなかった
- ④その他



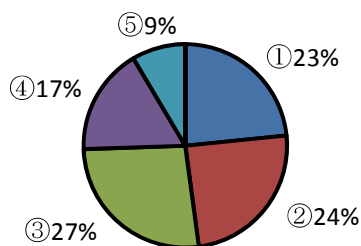
【質問2】何が一番、興味が持てたか？

- ①ボックスカルバート配筋検査
- ②鉄筋結束作業体験
- ③ドローンを使用した測量
- ④バックホウ試乗
- ⑤クレーン試乗
- ⑥その他



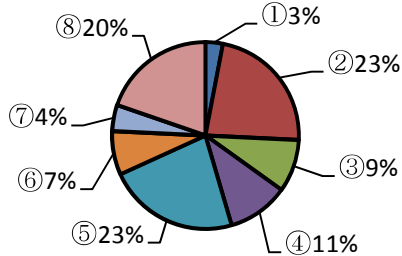
【質問4】何が一番、勉強になったか？

- ①ボックスカルバート配筋検査
- ②鉄筋結束作業体験
- ③ドローンを使用した測量
- ④バックホウ試乗
- ⑤クレーン試乗
- ⑥その他



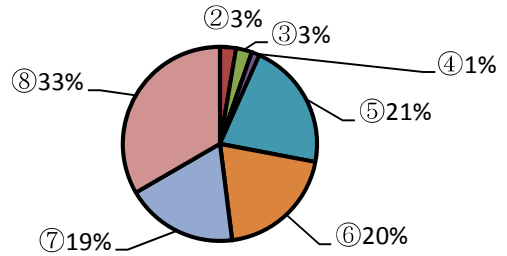
【質問5】見学会前の、工事現場の印象

- ①泥だらけで汚い
- ②危ない
- ③怖いおじさんがいる
- ④おもしろくない所
- ⑤そんなに汚い場所ではない
- ⑥危なくない
- ⑦怖いおじさんはいない
- ⑧おもしろそうな所



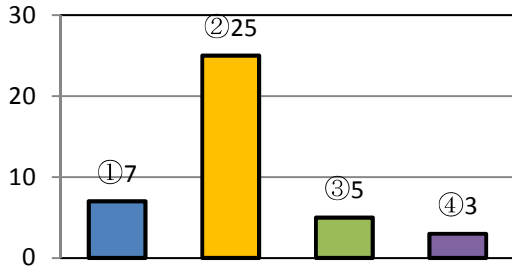
【質問6】見学会後の、工事現場の印象

- ①泥だらけで汚い
- ②危ない
- ③怖いおじさんがいる
- ④おもしろくない所
- ⑤そんなに汚い場所ではない
- ⑥危なくない
- ⑦怖いおじさんはいない
- ⑧おもしろそうな所



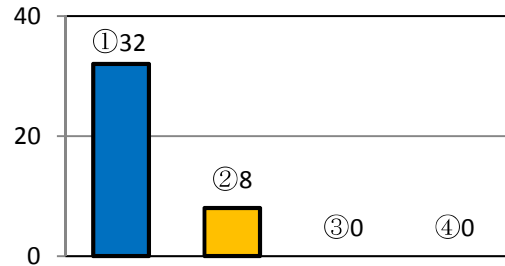
【質問7】見学会前の、土木現場の理解度

- ①良く知っていた
- ②少し知っていた
- ③あまり知らなかった
- ④全く知らなかった



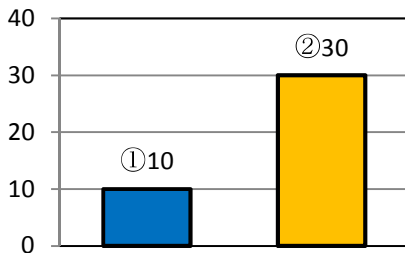
【質問8】見学会後、土木現場の理解度

- ①大変理解が深まった
- ②少し理解が深まった
- ③あまり理解が深まらなかった
- ④全く理解が深まらなかった



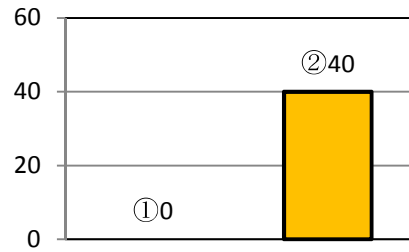
【質問9】見学会の前、土木現場への興味

- ①土木の現場に、興味がなかった
- ②土木の現場に、興味があった



【質問10】見学会の後、土木現場への興味

- ①土木の現場に、興味をもてない
- ②土木の現場に、興味をもった



(感想の一部)

今回見学させてもらった現場で僕の現場のイメージが全然変わった。以前は僕もエンジニアリングで仕事をしているので、現場は危ないと思ってきました。

ICT技術も駆使することで、作業効率の向上や、より品質・精度の高い工事ができたりあるということばかり、私・史蹟的に貴重な体験をさせていただけました。

実際に現場の雰囲気も体験できてとても興味深く感じました。また、見学するだけでなく、体験できたことは貴重な生態系の保全、近隣の温泉などに配慮して作業も頑張っているのもすごいことだと思います。

今まで授業の中で教科書でしか見たことがないボルト・スカルパットを間近で見学させてもらったことが、とても勉強になりました。現場は、きちんと整理・整頓され、きれいという印象を強く受けました。安全第一ということも、皆さんが働いている姿に印象に残りました。

議題及び報告事項（※自由様式）

機関名・団体名：新潟労働局

件名

「青少年雇用情報シートによる職場情報の提供」について

要旨

平成 28 年 3 月から、若者雇用促進法において、新規学卒者の募集・求人申込みを行う事業主は、労働条件を的確に伝えることに加えて、平均勤続年数や研修の有無及び内容といった就労実態などに関する職場情報を提供する仕組みが始まりました。

新規学卒者の募集・求人申込みを行う事業主は、幅広い職場情報の提供が努力義務とされ、また、応募者、応募の検討を行っている者、求人申込みをしたハローワーク・特定地方公共団体・職業紹介事業者または求人の紹介を受けた者等から求めがあった場合は、①募集・採用に関する情報、②職業能力の開発・向上に関する状況、③企業における雇用管理に関する状況、の 3 類型それぞれについて 1 つ以上の情報提供が義務づけられました。

ハローワークにおいては、新規学卒求人の申込みを受理するにあたって、事業主に対し、「青少年雇用情報シート」に全ての情報提供項目を記入して、求人申込書とあわせて提出するよう求めています。

この取組によって、新規学卒者等が企業の就労実態などを理解した上で応募してくるようになるため、学校卒業段階でのミスマッチによる早期離職を解消し、入社後の職場定着の向上を図ることができます。

また、企業にとっても、採用・広報活動を通じて、詳しい情報を提供することによって、求める人材の円滑な採用が期待できます。

議題及び報告事項（※自由様式）

機関名・団体名：新潟労働局

件名

「若者雇用促進法に基づく認定制度」及び「若者応援宣言企業」について

要旨

○「若者雇用促進法に基づく認定制度」

若者の採用、育成に積極的で、若者の雇用管理の状況などが優良な中小企業（常時雇用する労働者が300人以下の事業主）を厚生労働大臣が認定し、企業が求める人材の円滑な採用等を支援していく制度です。

【メリット】

- (1) 自社の商品、広告などに認定マークの使用が可能となり、認定を受けた優良企業であることを対外的にアピールすることができます。
- (2) 厚生労働省が運営する、若者の採用・育成に積極的な企業などに関するポータルサイト「若者雇用促進総合サイト」等に企業情報を掲載しますので、会社の魅力を広くアピールすることができます。
- (3) 「トライアル雇用奨励金」「キャリア形成促進助成金」「キャリアアップ助成金」について、一定額が加算されます。
- (4) 株式会社日本政策金融公庫による低利融資や公共調達における加点評価を受けることができます。

○「若者応援宣言企業」

上記認定制度の認定基準を満たしていないものの、一定の労務管理の体制が整備されており、若者の採用・育成に積極的で、通常の求人情報よりも詳細な企業情報・採用情報を積極的に公表する中小企業を「若者応援宣言企業」として、積極的にPR等を行う事業です。

【メリット】

- (1) 「若者応援宣言企業」の名称を使用でき、若者の育成・採用に積極的であることを対外的にアピールできます。
- (2) 厚生労働省が運営する、若者の採用・育成に積極的な企業などに関するポータルサイト「若者雇用促進総合サイト」等に企業情報を掲載しますので、会社の魅力を広くアピールすることができます。
- (3) 就職面接会などについて積極的に案内しますので、若者と接する機会が増え、より適した人材の採用を期待できます。
- (4) より詳細な企業情報を公表できますので、業務内容・雰囲気等がイメージしやすくなり、若者の職場定着が期待できます。


若者の採用・育成に積極的で雇用管理の優良な中小企業を応援します！

若者の採用・育成に積極的で、若者の雇用管理の状況などが優良な中小企業を若者雇用促進法に基づき厚生労働大臣が「ユースエール認定企業」として認定する制度が平成27年10月からスタートしました。

認定した企業に対して情報発信を後押しすることなどによって、企業が求める人材の円滑な採用を支援し、求職中の若者とのマッチング向上を図ります。

Q 「ユースエール認定企業」として認定を受けると、どんなメリットがありますか？

A ユースエール認定企業になると、以下の支援を受けることができるようになり、企業のイメージアップや優秀な人材の確保などが期待されます。

1	ハローワークなどで重点的 P R を実施	「わかものハローワーク」や「新卒応援ハローワーク」などの支援拠点で認定企業を積極的に P R することで、若者からの応募増が期待できます。また、厚生労働省が運営する、若者の採用・育成に積極的な企業などに関するポータルサイト「若者雇用促進総合サイト」（4ページ参照）などにも企業情報を掲載しますので、貴社の魅力を広くアピールすることができます。	
2	認定企業限定の就職面接会などへの参加が可能	各都道府県労働局・ハローワークが開催する就職面接会などについて積極的にご案内しますので、正社員就職を希望する若者などの求職者と接する機会が増え、より適した人材の採用を期待できます。	
3	自社の商品、広告などに認定マークの使用が可能	認定企業は、若者雇用促進法に基づく認定マークを、商品や広告などに付けることができます。認定マークを使用することによって、若者雇用促進法に基づく認定を受けた優良企業であるということを対外的にアピールすることができます。	 <認定マーク>
4	若者の採用・育成を支援する関係助成金を加算	若者の採用・育成を支援するため、認定企業が次の各種助成金を活用する際、一定額が加算されます（裏面参照）。 ①キャリアアップ助成金 ②キャリア形成促進助成金 ③トライアル雇用奨励金 ④三年以内既卒者等採用定着奨励金	
5	日本政策金融公庫による低利融資	株式会社日本政策金融公庫（中小企業事業・国民生活事業）において実施している「地域活性化・雇用促進資金（企業活力強化貸付）」を利用する際、基準利率※から-0.65%での低利融資を受けることができます。 ※ 平成28年4月1日現在：中小企業事業1.30%、国民生活事業1.85%。 ※ 適用利率は、資金使途、返済期間、担保の有無、信用リスクなどに応じて異なる利率が適用されます。 ※ 地域活性化・雇用促進資金（企業活力強化貸付）の詳細は、以下のURLをご覧ください。 https://www.jfc.go.jp/n/finance/search/17_tiiikigyou_m_t.html	
6	公共調達における加点評価	公共調達のうち、価格以外の要素を評価する調達（総合評価落札方式・企画競争方式）を行う場合は、契約内容に応じて、ユースエール認定企業を加点評価するよう、国が定める「女性の活躍推進に向けた公共調達及び補助金の活用に関する取組指針」において示されました。 ※ 公共調達における加点評価の仕組みは、原則平成28年度中に開始。 ※ 加点評価の詳細は、公共調達を行う行政機関によって定められます。	

Q どのような企業が認定企業になることができますか？

A 以下の認定基準を全て満たす中小企業（常時雇用する労働者が300人以下の事業主）であれば、認定企業となることができます。

<認定基準>

1	学卒求人※ ¹ など、若者対象の正社員※ ² の求人申込みまたは募集を行っていること
2	若者の採用や人材育成に積極的に取り組む企業であること
3	右の要件をすべて満たしていること <ul style="list-style-type: none"> ・「人材育成方針」と「教育訓練計画」を策定していること ・直近3事業年度の新卒者などの正社員として就職した人の離職率が20%以下 ・前事業年度の正社員の月平均所定外労働時間が20時間以下又は週労働時間60時間以上の正社員割合が5%以下 ・前事業年度の正社員の有給休暇の年間付与日数に対する取得率が平均70%以上又は年間取得日数が平均10日以上 ・直近3事業年度で男性労働者の育児休業等取得者が1人以上又は女性労働者の育児休業等取得率が75%以上※³
4	右の青少年雇用情報について公表していること <ul style="list-style-type: none"> ・直近3事業年度の新卒者などの採用者数・離職者数、男女別採用者数、平均継続勤務年数 ・研修内容、メンター制度の有無、自己啓発支援・キャリアコンサルティング制度・社内検定等の制度の有無とその内容 ・前事業年度の月平均の所定外労働時間、有給休暇の平均取得日数、育児休業の取得対象者数・取得者数（男女別）、役員・管理職の女性割合
5	過去3年間に認定企業の取消を受けていないこと
6	過去3年間に認定基準を満たさなくなったことによって認定を辞退していないこと※ ⁴
7	過去3年間に新規学卒者の採用内定取消しを行っていないこと
8	過去1年間に事業主都合による解雇または退職勧奨を行っていないこと※ ⁵
9	暴力団関係事業主でないこと
10	風俗営業等関係事業主でないこと
11	各種助成金の不支給措置を受けていないこと
12	重大な労働関係等法令違反を行っていないこと

※¹ 少なくとも卒業後3年以内の既卒者が応募可であることが必要です。

※² 正社員とは、直接雇用であり、期間の定めがなく、社内の他の雇用形態の労働者（役員を除く）に比べて高い責任を負いながら業務に従事する労働者をいいます。

※³ 男女ともに育児休業などの取得対象者がいない場合は、育休制度が定められていれば可とします。また、「くるみん認定」（子育てサポート企業として厚生労働省が定める一定の基準を満たした企業）を取得している企業については、くるみんの認定を受けた年度を含む3年度間はこの要件を不問とします。

※⁴ 3、4の基準を満たさずに辞退した場合、再度基準を満たせば辞退の日から3年以内であっても再申請が可能です。

※⁵ 離職理由に虚偽があることが判明した場合（実際は事業主都合であるにもかかわらず自己都合であるなど）は取り消します。

<若者の採用・育成を支援する関係助成金の加算措置について>

1. キャリアアップ助成金

認定企業が35歳未満の有期契約労働者などを正規雇用などへ転換する場合、1人当たり最大60万円のところ、10万円を加算し70万円を支給する。 ※支給額は企業規模などにより異なります。

2. キャリア形成促進助成金

認定企業が「雇用型訓練コース」「重点訓練コース」を活用した場合、経費助成率を1/2から2/3に引き上げる。 ※助成率は企業規模などにより異なります。

3. トライアル雇用奨励金

認定企業が35歳未満の対象者に対しトライアル雇用を実施する場合、月額最大4万円のところ、5万円を支給する（最長3カ月間）。

4. 三年以内既卒者等採用定着奨励金

認定企業が、学校等の既卒者や中退者が応募可能な新卒求人の申込みまたは募集を新たに行い、採用後一定期間定着させた場合、1人当たり最大70万円のところ、10万円を加算し80万円を支給する。

※支給額は企業規模などにより異なります。

各助成金の詳細については、厚生労働省ホームページ「事業主の方のための雇用関係助成金」をご覧ください。各都道府県労働局へお問い合わせください。

URL : http://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/koyou_roudou/koyou/kyufukin/

雇用関係助成金

検索

<事業年度末に認定申請を行う事業主の方へ>

-ご注意-

認定に当たっては認定日における直近の事業年度で要件を満たしている必要がありますので、要件確認のため、事業年度終了後1カ月以内に確認書類を提出していただいております。

《例》事業年度が3月末の事業主の方が3月に認定を受けた場合

⇒⇒新事業年度が開始した4月に改めて確認書類の提出が必要

<認定マークについて>

右の認定マークは、「ユースエール認定企業」であることを表すマークです。マーク中の「〇〇年度認定」は、認定を受けた年度を表しています。

認定企業は、事業年度ごとに認定基準を満たしているかの確認を受けることになっているため、認定基準をいつから満たし続けている企業なのかマークから分かります。



<認定マーク>

Q 新設企業などこれから認定取得を目指している企業への措置はありますか？

A 若者雇用促進法に基づく認定基準（数値基準等）を満たしていないものの、若者の採用・育成に積極的な中小企業について、都道府県労働局、ハローワークが積極的にマッチング支援を行う事業として「若者応援宣言企業」という制度があります。

若者応援宣言企業になるためには、

- ①若者対象の正社員求人・募集を行っており、
- ②若者の採用・育成に積極的に取り組み、
- ③一定の労務管理体制の要件を満たし※1、
- ④通常の求人情報よりも詳細な企業情報・採用情報※2を公表することが必要です。

※1 前ページの認定基準のうち、5以降の基準を満たすことが必要です。

※2 前ページの認定基準のうち、4の情報を公表することが必要です。

Q 「若者応援宣言企業」になると、どんなメリットがありますか？

A 若者応援宣言企業になると、以下の支援を受けることができるようになり、企業のイメージアップや優秀な人材の確保などが期待されます。

1	若者の職場定着が期待	ハローワークに提出される通常の求人情報に比べて、より詳細な企業情報・採用情報を公表できます。これによって、御社の職場環境・雰囲気・業務内容がイメージしやすくなり、より適した人材の応募が見込まれ、採用後の職場定着が期待できます。
2	ハローワークなどで重点的PRを実施	厚生労働省が運営する、若者の採用・育成に積極的な企業などに関するポータルサイト「若者雇用促進総合サイト」（4ページ参照）などに企業情報を掲載しますので、御社の魅力を広くアピールできます。
3	就職面接会などへの参加の機会が増加	就職面接会などの開催についてハローワークから積極的にご案内するので、若年求職者と接する機会が増え、より適した人材の採用が期待できます。
4	「若者応援宣言企業」の使用が可能	「若者応援宣言企業」の名称を使用し、若者の育成・採用に積極的であることを対外的にアピールすることができます。*

※ 「若者応援宣言企業」を宣言できる期間は原則、宣言した日が属する年度の末日までです。

継続して「若者応援宣言企業」を宣言する場合は、改めて求人などを提出し、宣言基準の確認を受けてください。

若者応援宣言企業は、ユースエール認定企業と違い、助成金の加算措置や低利融資、公共調達における加点評価の対象とならないほか、認定マークも使用することができません。



Q 認定企業になるには、どうすればよいですか？

A 認定企業となるためには、各都道府県労働局へ申請が必要です。裏面の認定基準を満たしていることを確認した後、各都道府県労働局から認定通知書を交付します。

※申請書などの提出は、ハローワークを経由して行うことができます。
また、認定基準を満たしているかどうかを確認するための書類をご提出いただけます。
詳細は、各都道府県労働局へお問い合わせください。

<「若者雇用促進総合サイト」について>

全国のユースエール認定企業や若者応援宣言企業の情報を掲載しているサイトです。また上記以外の企業でも本サイトに職場情報を掲載することが可能です。

個別企業ごとに企業概要、雇用管理の状況、求職者に向けたメッセージなどを掲載することで、積極的な企業情報の発信と若者とのマッチングを促進していきます。



「若者雇用促進総合サイト」

URL : <https://wakamono-koyou-sokushin.mhlw.go.jp/search/service/top.action>

若者雇用促進総合サイト

検索

<企業情報（PRシート）例>

このような情報が若者雇用促進総合サイトなどに掲載されています。

ユースエール認定企業PRシート																				
企業名	(フリガナ) カスミガセキセイサクシヨ 霞ヶ関製作所																			
所在地	〒111-1111 千代田区霞ヶ関000																			
事業内容	金属・非金属材料を用いて、自動車部品のプレス、溶接、組立、塗装及び金型器具の設計・試作の加工から量産までの一貫生産を行っています。																			
従業員数	200																			
設立年度	1995																			
事業所番号	2522-3456789																			
正社員の募集、定着状況	<table border="1"> <tr> <th colspan="3">新卒者等※1</th> <th colspan="3">新卒者等以外(35歳未満)</th> </tr> <tr> <th>前年度</th> <th>2年度前</th> <th>3年度前</th> <th>前年度</th> <th>2年度前</th> <th>3年度前</th> </tr> <tr> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> </table>	新卒者等※1			新卒者等以外(35歳未満)			前年度	2年度前	3年度前	前年度	2年度前	3年度前	○	○	○	○	○	○	(社長) 「最先端の技術と真心でお客様の信頼に応え、より良い社会に貢献する」を社是としています。共感して下さる方のご応募をお待ちしています。 (先輩職員) 当社は若い人も多く、活気があります。社内はコミュニケーションが活発ですので、すぐに溶け込むことができると思います。分からないことがあれば丁寧に教えますので、何でも聞いて下さい！
	新卒者等※1			新卒者等以外(35歳未満)																
	前年度	2年度前	3年度前	前年度	2年度前	3年度前														
	○	○	○	○	○	○														
募集状況※2	(男性) 10 10 10 10 10 10 (女性) 10 10 10 10 10 10																			
採用者数	(合計) 20 20 20 20 20 20																			
離職者数	1 2 3 - - -																			
平均継続勤務年数	20.5 年																			
従業員の平均年齢	37.0 歳																			
前年度の育児休業の取得状況※3	(男性) 1人/10人 (女性) 20人/20人																			
役員・管理職の女性割合	(役員) 20.0% (管理職) 20.0%																			
研修制度	新人研修(入社前研修、各職場でのOJT社内教育、教育機関での講習受講)、安全教育																			
自己啓発支援制度	技能免許取得費用負担																			
キャリア・コンサルティング制度	キャリア・コンサルティング																			
メンター制度	(有)・(無) 社内検定制度 社内認定制度(品質)																			
企業HP	http://www.mhlw.go.jp/																			
企業採用ページ	http://www.mhlw.go.jp/																			
求人検索	インターンシップ受入 (可)・(否) 現場での実務研修 ・受入可能時期: 1月 ・受入人数: 20 職場見学・職場体験の受入 (可)・(否) 会社概要の説明 ・受入可能時期: 12月 ・受入人数: 10 出張講話の可否 (可)・(否) 求人番号 11111-1111111 11111-1111111 11111-1111111 非正規の職場情報※4 女性育児休業取得率50% 所定外労働時間実績5時間 備考																			

○事業所PRシートをご覧になった方へ！
この事業所PRシートは、35歳未満の方を対象とした内容(ユースエール認定企業)となっております。予めご了承下さい。
○事業所番号、求人番号はハローワークで求人を受理した場合に記載されます。なお、既に充足している場合、求人番号が空欄になるリンク先においてその旨表示されます。
※1 新規学校卒業生及び既卒3年以内の者で新規学校卒業生と同等の処遇を行う正社員に就職をした者。
※2 正社員の募集を行った年度に○を付している。
※3 【男性】育児休業等の取得者数/配偶者が出産した男性労働者の数【女性】期間内の取得者数/出産した労働者数(対象者なしの場合は「-」)。
※4 非正規労働者の採用状況、有給休暇取得状況、所定外労働時間実績等についての自由記述欄。

詳しくは、都道府県労働局、ハローワークへお問い合わせください。
(低利融資の詳細は、株式会社日本政策金融公庫へお問い合わせください)

厚生労働省の「若者雇用促進総合サイト」に 職場情報を登録しませんか？

「若者雇用促進総合サイト」がリニューアルし、平成28年10月から学生等を雇用しようとするすべての事業主の方に職場情報を無料で登録・PRしていただけるようになりました。本サイトに職場情報等を登録・開示することで、より多くの学生等に自社をPRすることができ、学生等の応募の増加につながるということが考えられます。この機会にぜひ、本サイトをご活用ください。

若者雇用促進総合サイトは、

学生たちが就職活動を行う際に役立つ、以下の情報をまとめたポータルサイトです。



若者雇用促進総合サイト

本サイトは、若者雇用促進法に基づいて職場情報の提供を行う企業の情報を検索できるデータベースです。

- ① 登録企業の就労実態等の職場情報
- ② ユースエール認定企業などの各種認定の取得状況
- ③ 国が実施する若者雇用関連施策
- ④ 国や地方自治体が運営する就職相談窓口
- ⑤ ユースエール認定企業に対するインタビュー



ユースエール認定マーク

職場情報の登録方法

ご登録の際は、パソコンからアクセスをお願いします。

※スマートフォンからは閲覧のみ可能です。

※ユースエール認定企業と若者応援宣言企業については、労働局で登録作業を行いますので、**登録は不要**です。

サイトに職場情報を登録・公開する

4つのメリット

自社の職場情報を無料でPR

新卒者の応募意欲向上

早期離職を防ぎ 定着率向上

情報の見える化で 信用力アップ

1 パソコンから「若者雇用促進総合サイト」にアクセスします。

若者雇用促進総合サイト 検索

2 「事業主の方へ」ページの「新規事業主様登録」をクリックします。



クリック!

3 仮登録の後、本登録画面で職場情報を登録します。

登録に必要な情報	
仮登録	法人番号、企業名、所在地、担当者名・部署、TEL、FAX、メールアドレス、企業・採用ホームページURL
本登録	採用者・離職者数、平均勤続年数、研修制度、有給休暇の取得実績、育児休業の取得実績 など

※詳細はサイトの「事業主登録の流れ」をご確認ください。



前事業年度の月平均所定外労働時間の算出方法

前事業年度の労働者の一月あたりの所定外労働時間の平均値を合計した値を、労働者数で除して算出します。(管理的地位にある者については、算出対象から除いて差し支えありません。)

$$\text{前事業年度の月平均所定外労働時間} = \frac{\text{労働者ごとの一月あたりの所定外労働時間の平均値の合計}}{\text{前事業年度の労働者数}}$$

※月平均所定外労働時間は以下の計算方法で算出しても差し支えありません。

$$\text{前事業年度の月平均所定外労働時間} = \frac{\text{前事業年度の所定外労働時間の合計}}{\text{各月1日に在籍している労働者の延べ人数}}$$

前事業年度の有給休暇の平均取得日数の算出方法

労働者ごとの年次有給休暇の取得日数を合計した値を、労働者数で除して算出します。(管理的地位にある者、有給休暇が付与されていない者については、算出対象から除いて差し支えありません。)

$$\text{前事業年度の有給休暇の平均取得日数} = \frac{\text{前事業年度の労働者ごとの年次有給休暇の取得日数の合計}}{\text{前事業年度の労働者数}}$$

提供する情報についての留意事項

- ▶ 企業グループ全体として直接募集等を行い、グループ傘下の各企業に配属する採用形態の場合は、配属の可能性のある企業それぞれについて、1枚ずつシートを作成してください。
- ▶ 海外支店等に勤務している労働者については除外した情報としてください。
- ▶ 最新の情報を提供してください。
- ▶ **ハローワークにおける青少年雇用情報シートの取扱いについて**
- ▶ 大卒等求人「青少年雇用情報シート」については、ハローワークの求人情報提供端末において、求人票とあわせて求職者に公開されます。
- ▶ 求人申込みの時点で未記入となっている項目がある場合に、求職者から照会があった際は、あらためてハローワークから問い合わせさせていただきます。照会のあった項目についてもご提供いただけますよう、ご協力をお願いいたします。

若者雇用促進法や、青少年雇用情報などの詳しい内容につきましては、厚生労働省のホームページからご覧いただけます。

<http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000097679.html>

若者雇用促進法 検索

ご不明な点は、お近くの都道府県労働局、ハローワークにお問い合わせください。

新卒者等の求人・募集を行う事業主の皆さまへ

青少年雇用情報シートの書き方のポイント

平成28年3月1日から、労働条件を的確に伝えることに加えて、平均勤続年数や研修の有無および内容といった就労実態などに関する職場情報を新卒者等に提供することが、「若者雇用促進法」によって、義務づけられました。

この仕組みによって、新卒者等が企業の就労実態などを理解した上で応募してくるようになります。ミスマッチによる早期離職を解消し、若者が充実した職業人生を歩んでいくための適職選択の支援だけでなく、企業が求める人材の円滑な採用などにも役立ちます。

ハローワークに新卒向け求人申込みを行う場合には、「青少年雇用情報シート」の全ての項目をご記入いただき、求人申込書とあわせてご提出ください。

また、職業紹介事業者に新卒向け求人申込みを行う場合や、ホームページなどで直接新卒者等の募集を行う場合にも、「青少年雇用情報シート」を活用して積極的に情報提供を行うよう努めてください。

「青少年雇用情報シート」の記入方法については、2～3ページをご参照いただきますようよろしくお願い申し上げます。

可能な限り全ての項目を記入していただくようお願いいたします。

全ての項目を記入することが難しい場合でも、情報提供の義務（以下のシートサンプルにおける1～3の3類型それぞれで1項目以上の情報提供）にとどまらない積極的な情報提供をお願いします。

1. 募集・採用に関する情報

① ② ③ 新卒者等の採用者数／離職者数

新卒者のほか、新卒者と同じ採用枠で採用した既卒者など、新卒者と同等の処遇を行うものを含みます。

③ 平均継続勤務年数

労働者ごとのその企業に雇い入れられてから記入日の時点までに勤務した年数を合計した値を、労働者数で割って算出します。

参考値：従業員の平均年齢

若者雇用促進法に基づく青少年雇用情報項目ではありませんが、参考値として、記入日時点での平均年齢も可能な限り記入してください。

2. 職業能力の開発及び向上に関する取組の実施状況

制度として就業規則や労働協約に規定されていないまでも、継続的に実施しており、かつそのことが従業員に周知されていれば「有」と記入してください。

① 研修の有無及びその内容

具体的な対象者または内容を示してください。全ての研修の内容を書き切れない場合は、主な研修の内容のみ記入してください。

② 自己啓発支援の有無及びその内容

教育訓練休暇制度、教育訓練短時間勤務制度がある場合は、その情報を含めて記入してください。他には、配置等についての配慮、始業時刻の変更、資格取得の費用補助等もこの欄に記入してください。

③ メンター制度の有無

メンター制度とは、新たに雇い入れた新規学卒者等からの職業能力の開発及び向上その他の職業生活に関する相談に応じ、並びに必要な助言その他の援助を行う者を当該新規学卒者等に割り当ててこの制度のことです。

情報の範囲

求人区分に応じて、企業全体の正社員／正社員以外※別の情報を提供してください。

※ 正社員以外の情報は、期間雇用者や派遣等、いわゆる正社員以外の直接雇用の労働者全てに関する情報としてください。

追加の情報提供

求人申込みを行っている採用区分（例：総合職／一般職）、学歴別（大卒／高卒）や事業所別、職種別などの情報についても、追加情報として極力記入してください。

* 追加の情報については、貴社の任意の区分の情報で構いません。
* 複数区分での情報を提供される場合は、シートを追加してください。

青少年雇用情報シート（企業全体での【正社員】正社員以外）に関する情報です

※海外支店等に勤務している労働者については除外した情報となります

事業所名	株式会社 ハローワーク商事	求人番号	○○○○○-xxxxxx	○○○○○-△△△△△△	記入日	2016/4/10
------	---------------	------	--------------	--------------	-----	-----------

1 募集・採用に関する情報	企業全体の情報						【○○区分】に関する情報		
	前年度	2年度前	3年度前	前年度	2年度前	3年度前	前年度	2年度前	3年度前
① 直近3事業年度の新卒者等の採用者数	13人	9人	12人	5人	4人	5人	4人	5人	5人
② 直近3事業年度の離職者数	1人	2人	5人	0人	0人	1人	0人	0人	1人
③ 直近3事業年度の採用者数(男性)	8人	6人	7人	3人	3人	3人	3人	3人	3人
④ 直近3事業年度の採用者数(女性)	5人	3人	5人	2人	1人	2人	1人	2人	2人
⑤ 平均継続勤務年数	18.5年						16.3年		
⑥ 従業員の平均年齢	41.7歳						43.2歳		

2 職業能力の開発及び向上に関する取組の実施状況

1 研修の有無及びその内容	有	無	備考
① 研修の有無及びその内容	有	無	新入社員導入研修、英語講座(通信制)、簿記検定講座(社外講座)、管理職研修等
② 自己啓発支援の有無及びその内容	有	無	業務に資するとして会社が認めた資格について取得費用の全額補填
③ メンター制度の有無	有	無	
④ キャリアコンサルティング制度の有無及びその内容	有	無	入社直後、入社3年目の節目に人事担当者によるキャリア等に関する相談を実施
⑤ 社内検定等の制度の有無及びその内容	有	無	自動車販売技能検定

3 職場への定着の促進に関する取組の実施状況

1 前事業年度の月平均所定外労働時間	2 前事業年度の有給休暇の平均取得日数	3 前事業年度の育児休業取得者数/出産者数	4 役員及び管理的位置にある者に占める女性の割合
15.5時間	10.7日	9人/12人	22.1%
21.2時間	8.6日	6人/7人	30.5%

※ ④については、雇用形態に関わらず企業全体における割合を示しています。

3. 職場への定着の促進に関する取組の実施状況

① 前事業年度の月平均所定外労働時間・有給休暇の平均取得日数

算出方法はP4を参照してください。

② ③ 前事業年度の育児休業取得者数/出産者数

育児休業取得者数及び出産者数について、いずれも記載してください。男性については、配偶者の出産者数を記載してください。

④ 役員及び管理的位置にある者に占める女性の割合

求人区分に関わらず、貴社に雇用される全ての労働者に関する情報としてください。

* 「管理的位置にある者」とは、原則としていわゆる課長級以上が該当します。

④ キャリアコンサルティングの有無及びその内容

セルフ・キャリアドック※²を実施している場合は、その情報を含めて記入してください。キャリアコンサルティングを実施する者が企業に雇用されているかどうか、また資格の有無は問いませんが、企業内の仕組みとして実施されていることが必要です。

⑤ 社内検定等の制度の有無及びその内容

自社で実施する社内検定制度のほか、業界団体が実施する検定を活用する場合も「有」と記入してください。

※ 2 セルフ・キャリアドック

労働者が自らのキャリアや身に付けるべき知識・能力等を確認することを通じて主体的なキャリア形成を行うことを支援するため、年齢、就業年数、役職等の節目において定期的にキャリアコンサルティングを受けられる機会を設定する仕組み。

各機関からの報告事項

【富山県部会】

【報告事項】

- 富山県立大学 P19
 - ・ 県内唯一の土木系大学の拡充と教育の強化について
- 富山県立桜井高等学校土木課 P20
 - ・ 学校と行政機関・建設団体との連携
- 高岡工芸高校 P21
 - ・ 現場見学会と出前講座の参加状況および最近の進路状況
- 南砺福野高校 P22
 - ・ 平成28年度の取り組み状況

【提案議題】

- 北陸地方整備局 利賀ダム工事事務所 P23
 - ・ 現場見学会等の取り組みをより効果的に実施するため、どのような体験をしたいのか。
また、土木系学生の志望動機などを共有したい。

平成29年 1月31日

北陸建設界の担い手確保・育成推進協議会

議題及び報告事項（※自由様式）

機関名・団体名：富山県立大学

【報告事項】

- ・ 県内唯一の土木系大学の拡充の一環として、H29年4月入学者より定員を15名増加させ1学年55名となります。今後一層、基礎学力教育の充実をさせ、県内にも多くの人材を供給できる体制になりつつあります。
- ・ 同様に、学科名称もこれまでよりも社会にわかりやすい「環境・社会基盤工学科」と変更いたします。
- ・ 「土木施工」、「測量」、「土質・地盤工学」、「構造力学・構造設計」、「コンクリート工学」分野の教育が必要、強化すべきという県内業界からのご意見を賜り、教員を増加させる予定です。

議題及び報告事項（※自由様式）

機関名：富山県立桜井高等学校土木科

件名

学校と行政機関・建設団体との連携（報告）

平成 28 年度の取り組み

①現場見学会

1年生 10月 宇奈月ダム見学（土木に興味を持たせる講座）

2年生 9月 下新川海岸護岸工事（土木工事の必要性を理解できる現場）

3年生 6月 沖田川放水路・富山駅連続高架工事（土木工事の施工方法、目的の理解）

②インターンシップ 3～5日（7～8月）

2年生 官公庁および建設会社等

③出前講座

3年生 6月 業務説明会（国土交通省北陸地方整備局）

・公務員の仕事

・公務員と民間企業との違い等

2年生 12月 型枠工について（日本型枠工事業協会富山支部）

・型枠工事についての理解

・型枠実習（8人5班で型枠作成）

2年生 12月 建設業の役割と魅力（富山県、富山県建設業協会）

・建設業の魅力等について

富山県より

・建設業に携わっている卒業生からの話

立山土木事務所より

大高建設株式会社より

桜井建設株式会社より

・経営者からの話

大高建設株式会社 代表取締役社長

共和土木株式会社 代表取締役社長

○今後も同様な取り組みを行い、建設業への興味関心を高め、建設業を生涯の仕事として選択できるように指導していきたい。

議題及び報告事項（※自由様式）

機関名 高岡工芸高校

【現場見学会での新たな取組】

- | | |
|---|--|
| ○ 7/13 主催 富山河川国道事務所
場所 砺波東バイパス
参加者 土木工学コース3年生 | ○ 9/30 主催 富山県建設業協会
場所 小杉婦中線、守山川、茅焔橋
参加者 土木工学コース2年生 |
|---|--|
- ・現場体験実習 非破壊検査、鉄筋の結束、ボルト締め、最新測量機器(3D レーザースキャナ、ドローン)体験
 - ・若手技術者による講話(建設現場の魅力や苦労話)
 - ・・・生徒たちはたいへん興味関心をもち、建設界への魅力を強く感じたようである。

【出前講座】

- 12/12 主催 富山県土木部建設技術企画課 場
 所 高岡工芸高校
 参加者 土木環境科・建築科2年生79名、保護者5名
- 県から建設業の役割と魅力について説明があり、本校OBの土木・建築技術者の方から体験談をまじえていろいろな話を聞いた。生徒たちは年齢の近い先輩に親近感を感じて話に聞き入っていた。

【最近の進路状況】

	土木工学 コース生徒数	進学		就職		建設系への進路決定率	
		建設系	その他	建設系	その他	全体	建設系への 就職者のみ
H24年度卒	23名	8		15		17/23	13/23
		4	4	13	2	74%	57%
H25年度卒	16名	5		11		12/16	9/16
		3	2	9	2	75%	56%
H26年度卒	20名	5		15		18/20	14/20
		4	1	14	1	90%	70%
H27年度卒	19名	5		14		19/19	14/19
		5	0	14	0	100%	74%
H28年度 (内定)	19名	6		13		17/19	13/19
		4	2	13	0	90%	68%
H29年度 (現2年生)	29名						
(H24～H28) 5年間平均						86%	65%

議題及び報告事項（※自由様式）

機関名・団体名：南砺福野高校

【取り組み状況】

- ・本校は、農業環境科の中の1つの類型（専攻）としての位置づけのため、選択者が少ない。
- ・1年次には土木事業の大切さについて、学校での簡単な測量実習や県建設業協会、国交省、農林省主催の各現場見学を通して理解させている。
- ・本年度は3年生で類型選択者は8名。就職4名のうち、2名が建設会社に就職内定している。
- ・毎年、状況は変わり、個人の希望等で数字に現れたりそうでない年もあるが、今後とも変わらず情報提供などの支援をお願いしたい。

- ・本年度は公務員の受験はいなかった。
地元志向が強い生徒が多かったためであるが、「試験内容や合格できる点数」「公務員と一般の企業が1つの土木事業にどのように関わり、どの部分を受け持つか」「農水省と国交省での土木事業の違い」などの違いがわかれば、生徒は進路の1つとして考えられると思う。

議題及び報告事項（※自由様式）

機関名・団体名：利賀ダム工事事務所

【議題提案】

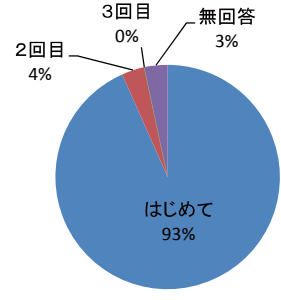
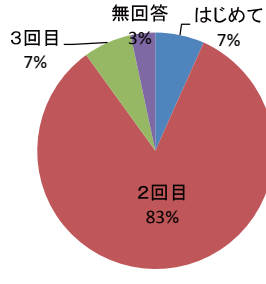
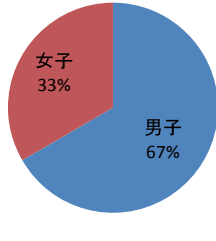
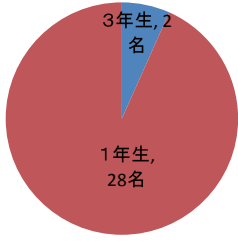
- ・現場見学会等の取り組みをより効果的に実施するため、どのような体験をしたいのか。また、土木系学生の志望動機などを共有したい。

（参考）平成28年度の土木系学生へのアンケート結果より

- ・ 最新の技術がどのように使用されているのかを見たり聞いたりしたかったが、丸型の鉄管を3本組み合わせて作るというめずらしい造りの橋を見ることができたから満足している。（大学1年生）
- ・ 現場の雰囲気と実際に何をしているかということを見たり聞いたりしたかったが、大規模な工事を目の当たりにし、とても迫力がありました。また、何故橋や道路を作っているかも明確に分かったから満足している。（大学1年生）
- ・ どれだけの人間がこの事業に関わっているのか気になる。（大学1年生）
- ・ 巨大な橋やダムをどのようにして造っているのか、疑問に思っていたが、ある程度の概要が分かったので良かった。（大学1年生）
- ・ 去年も見学をして、工事が進んでいて、より深く知ることができた。（高校2年生）
- ・ 女性の●●高校卒業生が●●工業で働いていることを知って、土木環境は、男女どちらでもできる仕事なんだと思いました。（高校1年生）
- ・ 建設現場はとても危険なところなのでケガ人がでないように工夫してあるところがすごいと思いました。（高校1年生）
- ・ ダムを作る以外にも、生態系の調査や、橋を作る事などしないといけないのが、とても大変だと思いました。でも、それだけ大変だからやりがいのある仕事なのかなと思いました。それと、危険な仕事だと思うので、安全に仕事をして欲しいと思いました。（高専1年生）

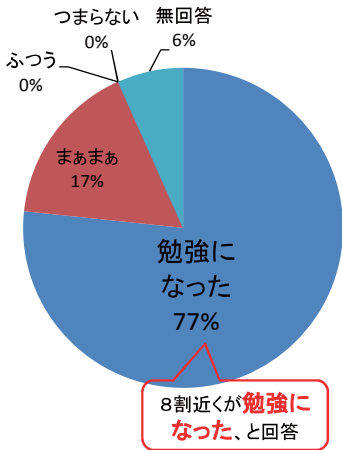
H28.10.18 南砺福野高校生現場見学会 アンケート結果 (1 / 2)

1. 学年・性別、これまでの見学会や体験会の参加回数

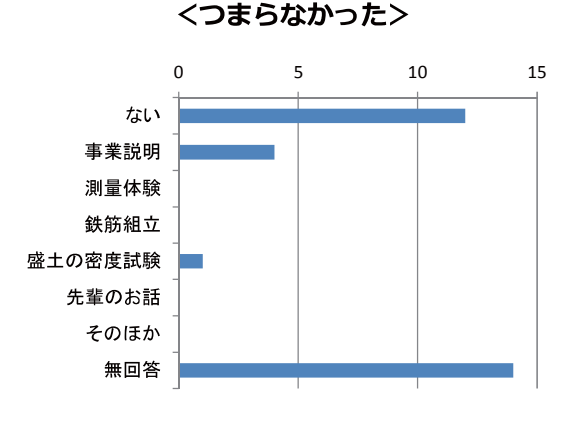
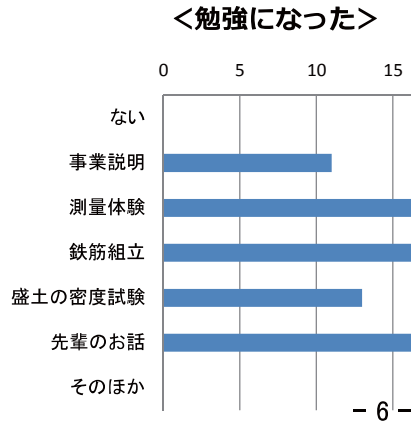


2. 見学会、体験会について

① 勉強になりましたか



② 何が「勉強になった」「つまらなかった」ですか【複数回答】

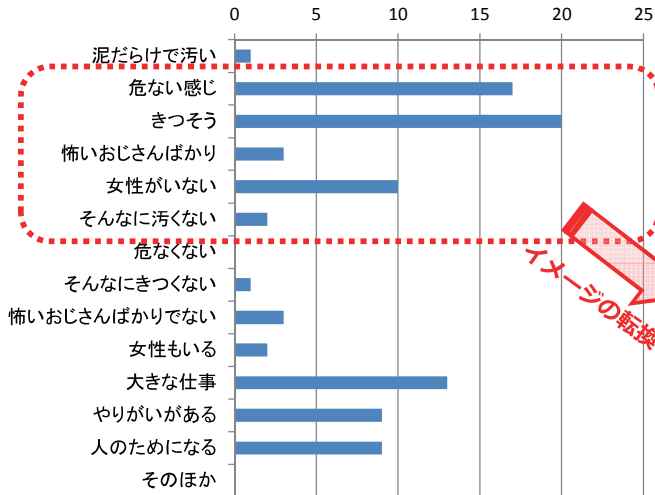


- 6 -

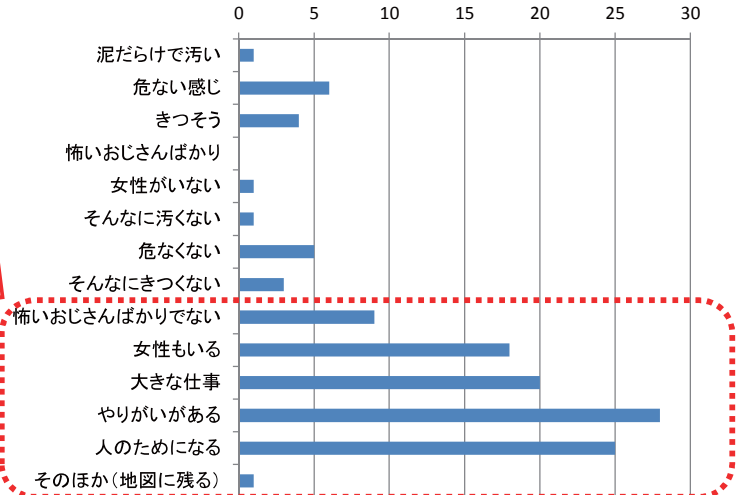
H28.10.18 南砺福野高校生現場見学会 アンケート結果 (2 / 2)

3. 見学会前・見学会後での土木建設現場の印象はどうでしたか【複数回答】

<見学会前>



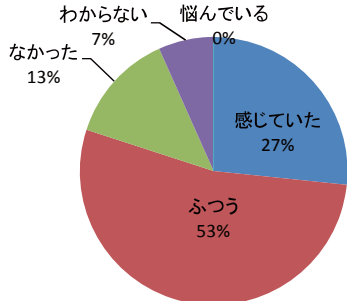
<見学会後>



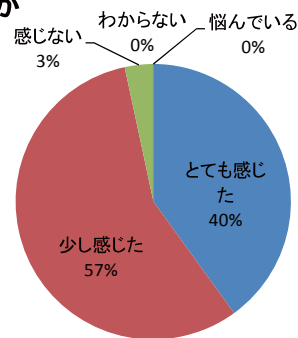
イメージの転換

4. 土木の仕事に魅力を感じていましたか、見学会を通じて変わりましたか

<見学会前>



<見学会後>





アンケートは以上です、ありがとうございます。

5. そのほか 感想など自由にお願いします
 女の人毛(技術者)の方毛(ごんいなるはと感じまし
 地図(形)にのこるものだけめつてやいがあるし
 仕事Tは
 思います。工本もいいはと思ひまし



アンケートは以上です、ありがとうございます。

今回の体験で、これまで以上に少し魅力を感じて
 います。



アンケートは以上です、ありがとうございます。

普段聞くところのよい子供も、体験を
 して、これ毛無限(対)して



アンケートは以上です、ありがとうございます。

金庫の相立は、東部のに作れど、
 産上の家産計集は、土産の「記集」に
 作れど、石産の「集」に



アンケートは以上です、ありがとうございます。

今回の体験、体念会として、業
 界の、人毛(技術者)の方毛(ごんいなるは
 を感じまし



アンケートは以上です、ありがとうございます。

体験会では、いろいろな機械も道具も
 があった、魅力を感じた。この
 進路選択にも、生かしていきたい



アンケートは以上です、ありがとうございます。

体験(本産)に、おたに、ごんいなるは
 集(本産)に、ごんいなるは、ごんいなるは
 集(本産)に、ごんいなるは、ごんいなるは



アンケートは以上です、ありがとうございます。

人のために、自分毛(ごんいなるは)を感じ
 と思ひまし
 女の人毛(技術者)の方毛(ごんいなるは)



アンケートは以上です、ありがとうございます。

今回の体験、いろいろな機械も道具も
 があった、魅力を感じた。この
 進路選択にも、生かしていきたい



アンケートは以上です、ありがとうございます。

今回の体験、体念会がたのしかった。そして、
 工本の仕事に魅力を感じました。
 私毛(ごんいなるは)は、土産の「記集」に
 作れど、石産の「集」に



アンケートは以上です、ありがとうございます。

普段、いろいろな体験も、
 魅力を感じました。



アンケートは以上です、ありがとうございます。

今回の体験、体念会がたのしかった。そして、
 工本の仕事に魅力を感じました。
 私毛(ごんいなるは)は、土産の「記集」に
 作れど、石産の「集」に



アンケートは以上です、ありがとうございます。

今回の体験、体念会がたのしかった。そして、
 工本の仕事に魅力を感じました。
 私毛(ごんいなるは)は、土産の「記集」に
 作れど、石産の「集」に



アンケートは以上です、ありがとうございます。

今回の体験、体念会がたのしかった。そして、
 工本の仕事に魅力を感じました。
 私毛(ごんいなるは)は、土産の「記集」に
 作れど、石産の「集」に



アンケートは以上です、ありがとうございます。

今回の体験、体念会がたのしかった。そして、
 工本の仕事に魅力を感じました。
 私毛(ごんいなるは)は、土産の「記集」に
 作れど、石産の「集」に



アンケートは以上です、ありがとうございます。

今回の体験、体念会がたのしかった。そして、
 工本の仕事に魅力を感じました。
 私毛(ごんいなるは)は、土産の「記集」に
 作れど、石産の「集」に



アンケートは以上です、ありがとうございます。

今回の体験、体念会がたのしかった。そして、
 工本の仕事に魅力を感じました。
 私毛(ごんいなるは)は、土産の「記集」に
 作れど、石産の「集」に

どのようにして仕事に興味を持たせるのかよく分かった。
また自分では人のためにやる、やりがいのある仕事を大事にしたいと思
っているのを忘れないで、この分野の仕事に取り組んでいきたい。



アンケートは以上で
す、ありがとうございます
ました。

HNKのニュースに存在するほびの、貴重な体験がてききた
し、将来の進路選択にういて役にたつた。



アンケートは以上で
す、ありがとうございます
ました。

今日の見学体験をこれらの進路にうつたしたい。



アンケートは以上で
す、ありがとうございます
ました。

地図に残る仕事とは、とても面白いと思つた。



アンケートは以上で
す、ありがとうございます
ました。

二の見学会で土木関係の仕事の関心も深まつたので、これから
しっかりと勉強して、土木の仕事につけたらいいなと
思っています。



アンケートは以上で
す、ありがとうございます
ました。

26 駅は遊園土木模型にうつたので、このような体験会
に参加して、うつた。



アンケートは以上で
す、ありがとうございます
ました。

見学、体験をして、うつた。土木関係の仕事は、うつた。
と感じました。金銭面は、うつた。土木関係の仕事は、うつた。
と、うつた。



アンケートは以上で
す、ありがとうございます
ました。

同じ作業のくり返りも、うつた。根幹が、うつた。うつた。
うつた。うつた。うつた。うつた。うつた。うつた。うつた。
うつた。



アンケートは以上で
す、ありがとうございます
ました。

この見学会を通じて、土木の道に進みたいと思つたので、これから
うつた。うつた。うつた。うつた。うつた。うつた。うつた。



アンケートは以上で
す、ありがとうございます
ました。

あまり、建設業には興味も、うつた。うつた。うつた。うつた。うつた。
と、うつた。うつた。うつた。うつた。うつた。うつた。うつた。



アンケートは以上で
す、ありがとうございます
ました。

各機関からの報告事項

【石川県部会】

【報告事項】

- 金沢大学 P28
 - ・ 1年生を対象とした現場見学会 および
 - 3年生と大学院1年生を対象にした特別講演会の実施について
- 金沢工大 環境土木工学科 P29
 - ・ 金沢工大環境土木工学科平成28年度大学院2年生 および
 - 4年生の就職先内定状況と今後の建設界担い手確保と育成の整備条件
- 石川工業高等専門学校 環境都市工学科 P30
 - ・ H28年度の活動報告
- 石川県立小松工業高等学校 P31
 - ・ 学校と行政機関・建設団体の連携
- 金沢市立工業高校 土木科 P32
 - ・ これからのインフラ整備を担う若年技術者育成について
- 金沢市立工業高校 建築科 P33
 - ・ 石川県建設業協会及び金沢建設業協会との取り組み
- 石川県立羽咋工業高校 P34
 - ・ 学校と行政および建設団体との連携
- 石川県立翠星高等学校 P35
 - ・ 学校と行政機関・建設団体のより一層の連携強化について
- 石川県教育委員会 P36
 - ・ 学校と行政機関・建設団体の連携について

平成29年 1月31日

北陸建設界の担い手確保・育成推進協議会

議題及び報告事項（※自由様式）

機関名・団体名：金沢大学

件名

要旨

昨年度と同様に、①1年生を対象とした現場見学会および②3年生と大学院1年生を対象にした特別講演会を実施した。

①は、初学者を対象とした丁寧な現場での解説などに学生から非常に高い評価を得ている。また引率にOBがいることもあり、気軽に質問しやすい雰囲気の良いのではないかと思う。アンケートを実施（提供資料）しており、来年度に向けた課題等などを整理している。

課題：偶然か、今年度の見学会では女性技術者と接することができなかった。これに関連し、参加した女子学生から、自身の建設業界への就職への不安を抱く旨の意見がでていた。なんらかの対応が必要かもしれない。

②は、一つの公共工事の計画から完成までに、各種の職種の方々がどのような形でこの工事に携わっていくかをそれぞれの立場（公務員、コンサルタント、建設会社）から講演いただくもので、学生さん達からは「情報誌なネット上では到底手に入れることができない貴重なことを聞くこと画できた」と好評である。

課題：会場で学生さん達と講演者の方々とがさらに活発な意見交換ができるような仕組みづくりを検討する必要がある。

議題及び報告事項（※自由様式）

機関名・団体名：金沢工大 環境土木工学科

<p>件名</p> <p>金沢工大環境土木工学科平成 28 年度大学院 2 年生および 4 年生の就職先内定状況と今後の建設界担い手確保と育成の整備条件</p>
<p>平成 28 年度就職内定状況</p> <ul style="list-style-type: none">・大学院 2 年生（7 名）：建設会社 5 名、建設コンサルタント 2 名・大学 4 年生（65 名）：進学 9 名、公務員および社団法人 6 名、JR 4 名、建設会社・道路会社 35 名、建設コンサルタント 11 名、・内定先のほとんどは建設界。本人たちの第一希望就職先への内定がほとんど、また、企業からの採用希望は今年度も非常に多い状況。 <p>今後の建設界担い手確保と育成の課題と対応</p> <ul style="list-style-type: none">・担い手の確保と育成の最も喫緊な課題は技能者（鉄筋工、法面工、トンネル掘削工など）の確保と育成不足である。この課題に対して、近い将来、技能者の経験とノウハウを取り入れた建設ロボットの導入、ICT, IoT, AI など取り入れた建設機械などの活躍が強く予想される（そうでなければ、技能者不足は外国人雇用で担うことになる）。したがって、IT や AI 知識をもつ現場技能とそのオペレート能力を持つ現場技術者（一部技能者の役割も担うことができる）が不可欠になって来よう。本学のようなほとんどの学生が建設界へ就職する大学では、このような知識や技能をもち現場の前線で活躍できる現場技術者の育成を考えて行かなくてはならない。この目的のため、カリキュラムや講義科目を追加、編成を行い、早急に、経験と実績をもつ技能者のノウハウいかに学び、いかに活かしていくか、産官学協働でこのような現場技術者育成に取り組むことが必須であろう。・担い手の確保と育成にとって極めて不本意なことは談合問題や建設界の不祥事が報道されることである。この報道によって大学、高校の入学希望者が一挙に減少する。今の子どもたちの進学や就職先は両親や中学・高校の先生方の意見が強く反映される。これらの報道は一般の家庭や中学・高校の先生に建設界全体のマイナスイメージを強く植え付ける。ここ 45 年以上、毎年大学の入学シーズンや父兄会に携わる者として多聞することは、例えば、一部のダンプトラックや工事車両の我が物顔運転に辟易している一般人感情に加えて、これら報道は忽ち建設界全体に非難が及ぶことである。産官学にて公共（税金）で仕事をする矜持を強く持ち、単なる表面的なイメージアップではなく、実際に、実質的に、社会的価値の高い業種であり、重要な業種であることを常に発信して、真摯な向上心と誇りをもつ業界に脱皮することがきわめて重要である。

議題及び報告事項（※自由様式）

機関名・団体名：石川工業高等専門学校 環境都市工学科

件名

H28年度の活動報告

要旨

進路状況

高専専攻科 4名，大学編入学 6名，公務員 6名（国家 3名，地方 3名）
建設会社 2名，コンサルタント 9名，JR 4名，電力・ガス 4名
NEXCO 関連 3名，情報系 1名

学外見学

1年：石川県庁土木部，神谷内トンネル，梯川分水路，利賀ダム，JR白山総合車両所
2年：金沢港
3年：利賀ダム，戸室新保埋立場
4年：金沢港，(株)ピーエス三菱七尾工場，手取川ダム，シンガポール港
5年：土質改良プラント，戸室新保埋立場

インターンシップ

4年：夏季実習 37名
専攻科 2年：長期（3ヶ月）4名（国交省 3名，建設コンサルタント）

議題及び報告事項（※自由様式）

機関名：石川県立小松工業高等学校

件名

学校と行政機関・建設団体の連携(報告)

要旨・28年度の取り組み

・現場見学 7月

- 1年全員 協力 一般社団法人 石川県建設業協会
- 2年全員 協力 国土交通省 金沢河川国道事務所 小松出張所
- 3年全員 協力 社団法人 石川県建築士会小松能美支部

・インターンシップ 3日間 (10月)

- 2年 全員 小松能美建設業協会・加賀建設業協会

・デュアルシステム 5-10日間 (6月)

- 3年 9社9名

デュアル発表会・意見交換会 平成28年9月27日 9:00-12:00

3年 デュアル参加者9名(発表) デュアル協力企業9名 2年全員

「経験や学びを3年生から聞き、2年生の勤労観・職業観を養うとともに、地域の企業で働くことの意味を考える」

全体を通して協力企業の意見

- ・デュアルをおこなって良かった。
- ・発表者は結構練習したのか?みんな良かった。このような発表する経験をもっと多くの生徒が体験できるといいのではないか。
- ・デュアルを通して建設業を知ってもらい、多くの生徒が業界に進路を決めたことはよかったです。



・建設業協会との意見交換会 12月 予定

- 2年全員 協力 加賀建設業協会・小松能美建設業協会

昨年は、事前に建設業協会の担当者と打合せを行い、少人数のグループに分かれて、建設業に携わる若手技術者を囲ってのディスカッションを行った。若手技術者は生徒にアンケートを行った結果から、現場監督(女性含む)、建機オペレーター、技術職をお願いした。活発に質問が出て、建設業の魅力が伝わり、有意義な会になった。今年度は「より深く建設業を知ってもらう」をテーマに時期を2カ月早め、インターンシップでの活動の熱が冷めないうちに行い、建設業を具体的な進路先として考えられるようにしたい。

議題及び報告事項（※自由様式）

機関名：金沢市立工業高校 土木科

件名

これからのインフラ整備を担う若年技術者育成について(報告)

1. 「土木」はおもしろい、と感じさせる体験が学習意欲の向上につながる。

《具体例》

「土木」における ICT の活用を現場見学において体験した。

石川県建設業協会主催の現場見学

実施月：7月

対象：1年土木科

主な内容：①リモコンによる建設機械の操作体験

②自動追尾式トータルステーションを用いた宝探し体験

（白山砂防科学館、砂防ダム工事、梯川河川工事）

結果：ICTは生徒の興味・関心を刺激し、土木におけるその活用体験が生徒の土木に対する学習意欲の向上につながった。

2. インフラ見学は、生徒が日本の将来につながるインフラの重要性を理解し、誇りと希望を持って「土木」に従事できるようにする上で貴重である。また、土木関係に入職した場合のやりがいや将来に対する不安等に関して従事者より直接回答を頂き、生徒が安心して「土木」を進路選択する情報を得られる。

《具体例》国土交通省主催の金沢港整備

事業見学会 実施月：10月

対象：2年土木科

主な内容：金沢港大野地区 13m 岸壁築造工事現場

金沢港湾内整備工事現場

国交省職員および建設企業職員との意見交換会

結果：完成した構造物を見学するだけでなく、歴史的・経済的視点(スープラ)から港湾整備(インフラ)の重要性を認識でき、生徒が将来、「土木」に従事することへの誇りを持つ契機となったと思われる。また、意見交換会では進路選択に関し貴重な情報を得ることができた。この時、女子生徒には女性技術者が対応していただき、「土木」への入職に関して女子生徒が持つ不安を取り除くことができた。

議題及び報告事項（※自由様式）

機関名：金沢市立工業高等学校 建築科

件名

石川県建設業協会及び金沢建設業協会との取り組み

要旨

- ・ 2月 富士教育センター派遣事業 就職準備前研修（マナー講習）・玉掛け・小型移動式クレーンの資格取得
- ・ 6月 現場見学会（3年生）
- ・ 7月～8月 就業体験・工業人育成企業実習（2年生）
- ・ 7月～ 第4回建築デザインアワード「長町に立つトイレ」
- ・ 12月 デザインアワード第2次審査（プレゼン）
企業との懇談会（2年生対象）

以上の取り組みを協会の御協力で実施しています。今年度は、40名中31名が就職（公務員1、建設業以外3名）建設業に従事する予定ですが、賃金面などの労働条件の改善をお願いしたいです。

議題及び報告事項

機関名 石川県立羽咋工業高校

件名 学校と行政および建設団体との連携（報告）

対象	時期	実施内容
3年生建築コース	7月15日	現場見学(金沢中央病院、県営額住宅)
3年生土木コース	7月15日	現場見学(小松海岸、梯川輪中堤)
土木コース(測量班)	7月25日	ものづくりコンテスト(測量部門)
建設造形科1～3年	8月8日	石川県土木現場見学会
建築コース(木工班)	8月12日	ものづくりコンテスト(木工部門)
2年生	10/19～21	インターンシップ
2年生	10/8, 12/10	土曜授業(測量)
3年生(測量部)	10月17日	測量技術コンテスト
1～3年	11/5～6	産業教育フェア
1、2年生	12月7日	県建設業協会 意見交換会
3年生	2月	富士訓練センター研修(希望者)

3年生:建築コース14人(内女子7人)、土木コース8人(内女子3人)が在籍
 2年生:建築コース16人(内女子8人)、土木コース10人(内女子6人)が在籍
 1年生:建築コース19人(内女子8人)、土木コース11人(内女子3人)が在籍

建設系就職者10人(内女子1人) 建設系以外就職者6人(内女子5人) 進学希望者6人(内女子3人)

今年度は現場見学の機会が増えてよかった。8月の見学会の参加者をもう少し増やすことを働きかけていきたい。また、先日実施できた建設業協会と高校生の意見交換会は、4社の若手の方々和小グループに分かれての意見交換ができ、これまでのやり方に比べて生徒にとってよかった。2年生だけでなく1年生にも同様の機会が与えられたこともよかった。今後もこうした取組を丁寧に進めていく必要があると感じている。

平成29年度の取組予定

対象	時期	実施内容
3年生建築コース	6月	現場見学
3年生土木コース	6月	現場見学
土木コース(測量班)	7～8月	ものづくりコンテスト(測量部門)
建築コース(木工班)	7～8月	ものづくりコンテスト(木工部門)
2年生	10月	インターンシップ
2年生	9～10月	土曜授業(測量)
3年生(測量部)	11月	測量技術コンテスト
1、2年生	12月	県建設業協会 意見交換会
3年生	2月	富士訓練センター研修(希望者)

議題及び報告事項（※自由様式）

機関名：石川県立翠星高等学校

<p>件名 学校と行政機関・建設団体のより一層の連携強化について（報告）</p>						
<p>要旨 昨年度初めて、白山・石川建設業協会の計らいで「高校生と建設業界との意見交換会」と題して高校生の建設業界に対するイメージや不安を率直に話し合う機会を持った。 若手の就業者による現場仕事の内容や待遇面やライフサイクル等の発表を聞いた後に、小グループに分かれ、それぞれの疑問や質問に答えてもらう実のある交歓会であった。 その後、進路を決める時期をむかえ、功を奏したのか交歓会に参加していた 16 名のうち 6 名（37.5%）が建設業界への就職を希望し内定を得ることができた。</p>						
	H28 度卒予定	H27 度卒	H26 度卒	H25 度卒	H24 度卒	H23 度卒
建設業界への就職者数	6	9	6	9	3	4
環境土木コースの人数	16	29	18	24	10	17
建設業界%	37.5%	31.0%	33.3%	37.5%	30.0%	23.5%

議題及び報告事項（※自由様式）

機関名：石川県教育委員会

件名

学校と行政機関・建設団体の連携について

要旨

- ・建設系高校における講座の開設
 - ・建設系高校向け実習等への講師派遣
 - ・建設系高校生へのインターンシップ
 - ・工業系高校生との意見交換会、現場見学会
 - ・工業系高校生の派遣研修
 - ・工業系高校の保護者との意見交換会
 - ・普通科等高校への意見交換会、現場見学会
 - ・普通科等高校の教員を対象にした現場見学会
- 等の事業の成果と課題について協議する。

多くの事業を行っていただくことは、生徒の進路選択に大いに役立っていると思います。今後も継続をお願いしたいと思います。